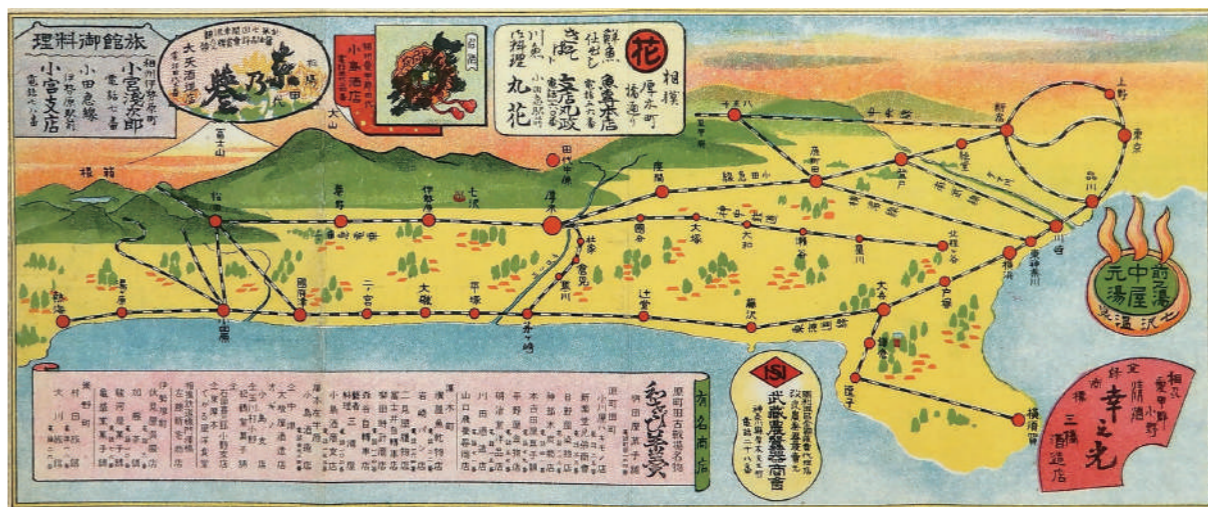


# 鉄道の移り変わり

海老名市デジタルアーカイブで見る!!



昭和2(1927)年に発行された神奈川県汽車電車交通案内。裏面に相模鉄道・神中鉄道・小田原急行などの時刻表を掲載

海老名市は古代から交通の要衝の地で、現在も各方面への交通アクセスに恵まれています。市域に鉄道が開通してからこととして100年。現在に至るまでさまざまな出来事がありました。

## 神中鉄道の設立・創業開始 今の相鉄線

大正6(1917)年12月、神中鉄道(株)の前身である神中軌道(株)が発足しました。当事の海老名村長望月珪治の誘致により、大正15(1926)年5月に「二俣川〜厚木(海老名村河原口)間」を開業し、昭和8(1933)年には横浜駅まで延伸しました。

## 相模鉄道の設立・創業開始 今のJR相模線

大正5(1916)年6月に「茅ヶ崎〜橋本間」の敷設免許を取得し、翌年相模鉄道(株)を設立しました。大正10(1921)年に「茅ヶ崎〜寒川間」を開業、大正15(1926)年に厚木まで延伸、昭和6(1931)年には橋本までの全線が開業しました。昭和18(1943)年4月、戦時下の輸送を充実させるため、神中鉄道を吸収合併しましたが、翌年、国策により相模線は国に買収されました。残った神中線が相模鉄道(株)として継承されました。

## 小田原急行鉄道の設立・創業開始 今の小田急線

大正8(1919)年、起業家を中心として東京高速鉄道(株)が設立されました。都内から郊外へと延長する形で申請した「東京〜小田原間」の鉄道敷設免許を大正11(1922)年に取得。翌年、社名を小田原急行鉄道(株)と改めました。関東大震災により着工は遅れたものの、昭和2(1927)年4月に「新宿〜小田原間」を開業し、半年後に複線として開通しました。



## 市内の6つの「駅」ができるまで

### 厚木駅

大正15(1926)年、神中鉄道の開通とともに「二俣川〜厚木(海老名村河原口)間」の終着駅として、市域で最初に開設された駅です。同年7月には相模鉄道が延伸し、河原口でつながりました。当時は知名度のない「河原口」よりも、県央で栄えていた「厚木」を駅名にしたほうが集客が増えると考え、厚木町へ理解を求めました。厚木町も路線を計画していたものの実現は難しく、厚木町の玄関駅として「厚木」を駅名としたとされます。



旧厚木駅(昭和14(1939)年頃)

### 門沢橋駅

昭和6(1931)年に「門沢橋停留場」として開設されました。平成7(1995)年に駅舎が完成し、駅員のいる駅となり、JR東日本初の店舗が駅舎内に併設されました。現在は閉店し、無人駅に戻っています。



門沢橋駅駅舎完成(平成7(1995)年4月)

### 社家駅

大正15(1926)年7月に相模鉄道が倉見から厚木に延伸した時に開設された駅です。駅舎は開設当初のままの姿を残しています。現在は駅前広場が整備されました。



社家駅(昭和62(1987)年)

### 海老名駅

現在、「海老名駅」は相鉄線・小田急線・JR相模線の3線があります。最初は神中鉄道が昭和16(1941)年に駅舎を設置し、昭和18(1943)年に小田急電鉄でも旅客営業が開始されたのを機に、駅舎の共同利用が始まりました。

昭和48(1973)年、共同利用していた「海老名駅」を現在の位置に移設。相鉄線は約300m、小田急線は約400m、それぞれの駅を南西側へ移設した形になります。JR相模線「海老名駅」は、国鉄時代に開設された最後の駅です。昭和62(1987)年に現在地に開設されました。

### かしわ台駅・さがみ野駅

「かしわ台駅」は昭和50(1975)年に現在の場所に開設されました。「さがみ野駅」は旧大塚本町駅が890m横浜側に移動してできました。大塚本町駅の駅名はなくなりましたが、現在はかしわ台駅東口として利用され、長い構内通路に当時の面影を残しています。



かしわ台駅(昭和50(1975)年8月)

さがみ野駅(昭和50(1975)年8月)



大塚本町駅(昭和46(1971)年3月)



国鉄相模線海老名駅開業(昭和62(1987)年3月)



旧海老名駅(昭和32(1957)年頃)